

平成22年度私立学校10年経験者秋期研修（東日本）実施概要

10年経験者秋期研修会（東日本）は、10月22日（金）から23日（土）の2日間、クロスウェーブ船橋（千葉県船橋市）で開催され、30名を超える参加があった。

1泊2日の合宿研修は、元向上学園理事長、清水秀樹氏による講演「生徒指導の今日的課題」で始まった。生徒指導にまつわる具体的な事例に、受講者は熱心に耳を傾けていた。

清水氏の講演に関連して、引き続きNPO法人日本ガーディアン・エンジェルス理事長の小田啓二氏に解説していただいた。

夕食後は、屋外実習である。夜7時半より、ガーディアン・エンジェルスによる街頭パトロールに同行して、千葉駅周辺の繁華街を2時間ほど視察した。

また、小学校教員に対しては、別メニューが用意された。前学習院初等科科長、斉藤進氏による講演「子ども理解を重視した学級経営の在り方」の後、実習や討議がなされた。



研修2日目。この日は日本大学准教授で弁護士の堀切忠和氏による「事例に学ぶ危機管理」の講演があった。学校現場には、さまざまな事故や危険の可能性はある。それらに適切に対処する必要性を堀切氏は強調していた。

午後からは当研究所の山路進研究員、山崎吉朗研究員による「新しい学力観と評価のあり方および学校評価」の講義が行われた。スクリーンには、パワーポイントで作成された膨大な資料が、次々に映し出され、受講者たちは、時には机上の資料に目を落としながら、真剣にノートをとっていた。

午後4時からの閉会式では、修了証が手渡され、2日間の研修を終了した。



（高山博通）